

佐賀県薬剤師会 能登半島地震活動報告 第2報

令和6年1月26日(金)

<21時19分報告>

【派遣日程】 1月25日(木)~1月29日(月)

【報告者】 北泰輔

【メンバー】 千代延誠治、高崎裕也

【派遣先】 輪島ふれあいセンター

【気象情報】 雪

【交通状況】 道の起伏あり、場所によって片側車線のみ走行

【ライフライン】 上水道×/電気○/トイレ× 仮設トイレあり、感染症対策○

【避難所情報】 大屋公民館(薬剤の配送で訪問)

京都看護師チームが入られていて換気○・感染症無・衛生環境○

【避難所情報】 和光幼稚園(ふれあいセンター近くで巡回)

園長が対応 インフル1名あったが2階に隔離され拡大なし。一昨日医療チームの介入あり。近隣のごちゃまるクリニックが再開されそちらに今後は相談。事前情報の33名から15名に。水の問題ない地域に2次避難。園長母も施設に2次避難。現在要配慮者なし

【活動内容】 5:30 柴垣本部 出発

7:00 穴水総合病院(仮設トイレでトイレ休憩)

8:50 輪島ふれあいセンター着

9:00 ふれあいセンター全体ミーティング(東京都薬、青森県薬、山梨MP)

・ミーティング中に薬剤師会の詰め所で災害処方箋と保険医療処方箋の流れ説明あり

・昨日処方されていた保険医療処方箋4枚の情報共有

・佐賀2枚(菜の花2枚)、青森2枚(日本調剤プラザ、あおぞら薬局)担当することに

10:00 菜の花薬局に2名分の薬剤を受け取り(オンライン指導用の親機、子機がないこと判明)

10:30 配送先の関係から青森と日本調剤プラザで合流し、青森は小学校(2枚)に、我々は大屋公民館とふれあいセンターに

10:45 あおぞら薬局に薬剤の受け取り(大屋公民館への配達分:エピペンの処方希望あり、医師よりエピペンは受診され

るよう指示あり)

- 11:00 大屋公民館着：患者さん不在、常駐の京都看護師チームよりエピペンをお願いされた経緯判明、定時薬のアロプリノールも手持ちに44日分あり(定時90日分)、受診推奨を行い、処方なしに。
- 11:20 輪島ふれあいセンター：菜の花薬局からの医薬品配送
同時刻に D-PAT 隊の受診をされていて、T-PAT 隊の薬剤師に受け渡し
- 11:35 同避難者さんに対して D-PAT 隊からの災害処方箋のリスペリドンを山梨 MP より受け取り、T-MAT 隊管理のところにいらっしゃって T-MAT 隊薬剤師の指示で看護師に渡す
- 11:45 あおぞら薬局に処方中止になったこと伝え、オンライン服薬指導の子機返却
- 12:00 輪島ふれあいセンター本部から輪島総合病院へ保険処方箋依頼書 FAX
- 12:30 昼食
- 13:30 配布センターの文化会館に OTC がどこからか持ち込まれていること輪島市役所本部より連絡あり、分類、整理、数の把握、リスト化の依頼
- 14:00 文化会館 段ボールに入っている OTC をエクセルでリスト化、第2類多数、第1類のロキソニン S12錠入り4箱見つかる、本部に確認し回収に。ふれあいセンターにて管理に
- 15:30 ふれあいセンター近隣で和光幼稚園を巡回
- 16:00 業務終了 輪島ふれあいセンター出発
- 19:00 夕食
- 20:00 柴垣本部到着
- 21:00 全体ミーティング参加

以上